

誰もが時給1,300円へ！ 地方審議の議論に期待！

連合北海道最賃対策委員会を開催

連合北海道は7月28日、第2回最賃対策委員会（河野委員長／連合北海道副会長）を開催し、北海道地方最低賃金審議会にむけた連合北海道の取り組みについて確認しました。

中央での目安審議がスタート
—金額審議や発行日についての考え方を整理—

中央最低賃金審議会および目安小委員会が6月26日開催され、本格的に目安額審議がスタートした。あわせて中央最低賃金審議会は昨年の各地域最賃の審議結果を踏まえた金額審議や発効日について考え方を示した。①「近隣県等との過度な競争意識や最下位回避意識による地域の実態と乖離した引き上げについて」は、そのような動機で大幅引き上げを結論づけることは適切ではなく法定3要素のデータを考慮して決定すべきであり、大幅引き上げの際には判断理由を明らかにするべきとした。②「発効日にばらつきが生じたこと（後ろ倒し傾向）については、労使双方の予測可能性

が損なわれる等の観点から、発効日が大幅引き上げ額を確保するための過度な交渉材料となることは適切ではなく十分な議論を尽くすこと、指定日発効の場合にはその理由を明らかにするべきなどと整理した。

最低賃金をめぐる情勢

北海道の最低賃金は昨年度の審議会答申において過去最大65円増の1,075円となった。依然として北海道全体が全国と比較すると最低賃金に張り付く形での低賃金構造にある現実と、同時に、最低賃金引き上げの取り組みが道内経済の底上げ、セーフティネットの役割として非常に重要であることが確認できる。

政府は「2020年代に全国平均1,500円という高い目標（骨太方針2025）の達成に向け、官民でたゆまぬ努力を継続し、労働生産性の継続的な向上を図ることで、遅くとも2030年代でできる限り早期に全国平均1,500円を達成する」と、表現が一步後退しているところではあるが、

本来あるべき最低賃金の水準のあり方を議論する新たなステージに立っている。

北海道の連合リビングウェイジ1,190円の達成はもとより、一般労働者の賃金中央値60%に向けて、経済活性化施策の展開、道民所得底上げのための最低賃金引き上げ、雇用政策の強力な展開が図られるよう取り組みを強化するとしました。

最低賃金の大幅引き上げと早期発効を！

連合北海道は、最低賃金法の改正主旨にある「健康で文化的な生活」が実現できる地域最賃レベルを実現するため、大幅な引き上げを求める。設定する最低賃金は、北海道の連合リビングウェイジ1,190円や、経験豊富な労働者の時間額が、道内高卒初任給を下回らない水準の確保を求めながら、当面の目標額を時給1,300円とするが、今年度の北海道最低賃金改定目標額は、中賃目安+αとしたい。また、10月1日の早期発効をめざし（答申期限8月5日）、精力的に審議を進めるよう求めるとした。

金額で昨年を上回る賃上げ！ 2026春季生活闘争 中間まとめ 石狩地域100人未満で連合北海道集計を上回る奮闘！

全石狩地域闘争委員会
は7月1日、「2026春季生活闘争 中間まとめ」および今後の取り組みと課題について確認しました。

本年の賃上げ・労働条件交渉も昨年に続き記録的な物価高という厳しい情勢の中で行われてきました。賃上げ回答状況では、規模別には依然として格差があるものの、すべての組合が月例賃金の引き上げにこたわった要求を掲げ交渉した結果、賃上げの流れが中小・地場組合にも継続している。

賃上げの広がりが前進していることの意義は非常に大きいものがあり、今後につながる成果として評価できるものです。

4月以降本格化した中小組合の交渉では、適正な価格転嫁や「人への投資」「未来への投資」を通じた生産性の向上などにより、継続的に格差是正を含めた賃上げができる環境づくりが重要であり、政策面からの対応と労使コミュニケーションの強化が一層重要だということです。

【全石狩地域 参加86組合 妥結67組合 公表・集計可能64組合】

※昨年集計 参加82組合 妥結50組合 公表・集計可能47組合

組合規模	集計組合数	加重平均妥結額 (定昇・ペア込み)	昨年実績額 (定昇・ペア込み)	昨 年 比
100人未満	18組合	15,284円 (5.33%)	15,270円(6.01%)	14円(▲0.68%)
300人未満	20組合	12,356円 (4.48%)	15,363円(5.14%)	▲3,007円(▲0.66%)
300人未満計	38組合	12,863円 (4.62%)	15,345円(5.32%)	▲2,482円(▲0.70%)
1,000人未満	17組合	13,376円 (4.70%)	14,718円(5.27%)	▲1,342円(▲0.57%)
1,000人以上	9組合	13,265円 (4.43%)	10,667円(4.74%)	2,598円(▲0.31%)
300人以上計	26組合	13,278円 (4.46%)	11,722円(4.88%)	1,556円(▲0.42%)
計	64組合	13,249円 (4.47%)	11,997円(4.91%)	1,252円(▲0.44%)

石狩地域の2026春季生活闘争は最終盤の取り組みを迎えています。賃金交渉に関する登録組合の拡大、地域最低賃金改善に向けた取り組み等、残る課題の積極的推進に努め、石狩地域すべての働く者の労働条件改善に取り組みます。

オスプレイ丘珠駐屯地に飛来 陸自所属、道内2年ぶり

陸上自衛隊所属の輸送機V22オスプレイ1機が7月17日、丘珠駐屯地（札幌市東区）に飛来しました。陸自所属のオスプレイが道内に飛来するのは2024年8月以来、約2年ぶりとなります。与那国駐屯地（沖縄）で24年10月に起きた陸自機の損傷事故後は初めての道内訓練となりま

す。オスプレイを巡っては、24年の陸自機の事故のほか、米軍機の墜落による死亡事故などが多発しています。

連合北海道の和田事務局長は談話を発表、「2023年11月に発生した屋久島沖でのオスプレイ墜落事故は、日本国内で初めて乗員の死者を出した墜落事故だ。墜落地点は屋久島沖だが、市街地などに墜落していれば、多くの住民が巻き添えになる可能性があった。徹底した事故原因の究明と再発防止策を講じぬままでの飛行は認め



墜落事故を繰り返す輸送機V22オスプレイ

働く者・生活者に
寄り添った政策で
「働くこと」を軸とする
安心社会の実現を！

連合北海道は7月23日、第3回政策委員会を開催し、2027年度道政に対する「要求と提言」（案）の討議・確認と意見交換について議論されました。

札幌地区連合も、7月27日、政策委員会を開催し、「2027年度札幌市予算編成へ向けた政策要求」の取り組みについて確認し、働く者・生活者の政策実現へ始動しました。



札幌地区連合四役による、昨年の
札幌市への政策要求申し入れ

連合北海道札幌地区連合会ホームページ



労働相談ホットライン
フリーダイヤル いこうよ れんごうに
☎ 0120-154-052

QRコードで速報を
チェック！

<https://rengo-sapporo.jp/>

札幌

れんごう

札幌市中央区北4条西12丁目 ほくろビル2階
編集発行人 吉田 賢一 ☎210-0505

2026年8月5日 499号
連合北海道札幌地区連合会